

【】 鎌倉幕府の成立と執権政治

【】 平家の滅亡

[源頼朝の挙兵]

[問題](2 学期中間改)

1180 年、右の肖像画の人物は、平氏追討の命令を受けて伊豆で兵を挙げた後、山と海に囲まれて守りやすい鎌倉(右図、現在の神奈川県)を本拠地にして指揮をとった。この肖像画の人物は誰か。



[解答欄]

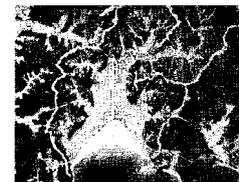
[解答]源頼朝

[解説]

みなもとのよりとも
源頼朝(右図)は、1180 年に挙兵した後、かまくら鎌倉(神奈川県)ほんきょちを本拠地にして指揮をとった。鎌倉は東・北・西の三方を山で囲まれ、南は相模湾さがみわんに面した天然の要害ようがいである。東・北・西のいずれから鎌倉に入るとしても「鎌倉七口」と呼ばれる、山を切り開いた狭い通路(切通し)きりどおしを通らねばならなかった。このように、鎌倉は山と海に囲まれているので守りやすい土地であった。



[源頼朝]の挙兵
1180年に挙兵
鎌倉を本拠地にした
山と海に囲まれているので
守りやすかったから



鎌倉幕府がおかれたところ

※出題頻度：「源頼朝」◎ 「鎌倉(地図)」△

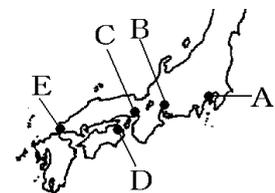
「鎌倉は山と海に囲まれているので守りやすかったから△」

(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)、○(出題頻度が高い)、△(ときどき出題される))

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 平氏に対抗するため、1180 年に伊豆で兵を挙げ、後に幕府を開いたのは誰か。
- (2) (1)の人物は挙兵後、山と海に囲まれて守りやすい場所を本拠地に定め、そこで指揮をとった。その本拠地の①地名を答えよ。②右の地図中の A~E のどこか答えよ。



[解答欄]

(1)	(2)①	②
-----	------	---

[解答](1) 源頼朝 (2)① 鎌倉 ② A

[問題](入試問題)

次の文中の A, B にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを下のア～エから 1 つ選べ。

源頼朝が幕府を開いた鎌倉は, (A)であった。また, 鎌倉に入るまでの道には, 右の写真のような(B)が設けられた。

ア : A 広大な盆地に位置し陸上交通の要, B 切通し

イ : A 広大な盆地に位置し陸上交通の要, B 水城

ウ : A 三方を山に囲まれ南は海に面している地, B 切通し

エ : A 三方を山に囲まれ, 南は海に面している地, B 水城

(山口県)

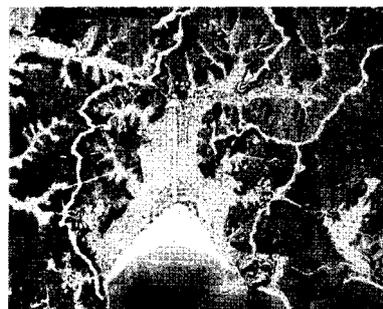
[解答欄]

[解答]ウ



[問題](2 学期期末)

源頼朝は, 鎌倉を本拠地に定めたが, その理由を右の資料を参考にして, 「山と海」という語句を使って簡潔に説明せよ。



鎌倉幕府がおかれたところ(復元模型)

[解答欄]

[解答]鎌倉は山と海に囲まれているので守りやすかったから。

[壇ノ浦の戦い]

[問題](3 学期改)

源頼朝は, 鎌倉を本拠地に定め, 武士を結集して関東地方を支配すると, 平氏をたおすために弟の源義経などを送って平氏を攻めさせた。義経は一ノ谷の戦い, 屋島の戦いで平氏を破り, 1185 年, 右図の X の戦いで平氏を滅亡させた。X の地名を答えよ。



[解答欄]

[解答]壇ノ浦

【解説】

源頼朝は鎌倉かまくらにいて、弟の源義経みなもとのよしつねらを派遣した。義経は一ノ谷いちのたにの戦い、屋島やしまの戦いで平氏を破り、1185年、壇ノ浦だんのうら(山口県)の戦いで平氏を滅亡させた。



[源平の争乱]
1180年 源頼朝の挙兵
1185年 壇ノ浦の戦い
源義経が平氏を滅ぼす

(平家の人々は御(1185)難の壇ノ浦)

※出題頻度：「壇ノ浦(地図)○：源義経△，平氏の滅亡△」

【問題】(2 学期期末)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

1180年、平氏追討の命令を受けて、伊豆にいた(①)をはじめ、各地の武士団が立ち上がり、全国的な争乱になっていった。この争乱は、(①)の弟である(②)の軍にせめられた平氏が今の山口県の(③)の戦いで滅亡するまで5年間続き、源平の争乱と呼ばれている。

【解答欄】

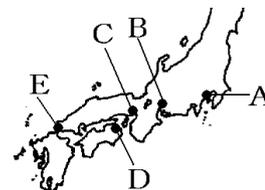
①	②	③
---	---	---

【解答】① 源頼朝 ② 源義経 ③ 壇ノ浦

【問題】(後期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 源頼朝の弟で、平氏をほろぼした武将は誰か。
- (2) 平家が(1)の武将によってほろぼされた場所はどこか。
 - ①地名を答えよ。
 - ②右の地図中の A～E のどこか答えよ。
 - ③①は現在の何県にあたるか答えよ。



【解答欄】

(1)	(2)①	②	③
-----	------	---	---

【解答】(1) 源義経 (2)① 壇ノ浦 ② E ③ 山口県

【】鎌倉幕府の成立

[守護と地頭の任命・征夷大將軍]

[問題](2 学期中間改)

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

平家滅亡後，源頼朝の巨大化を恐れた後白河上皇は，源頼朝と源義経が不仲になったことにつけこみ，義経の願いを受けて頼朝追討を命じた。これに対して頼朝は軍を京都に送って後白河上皇にせまり，1185 年，義経をとらえることを口実に，国ごとに(①)(軍事や警察の仕事を行う)を，荘園や公領ごとに地頭(年貢の取り立てなどを行う)を任命する権利を獲得し，本格的な武士の政権である鎌倉幕府を開いた。1189 年，頼朝は義経をかくまったことを理由に，奥州藤原氏を攻めほろぼした。さらに，1192 年，源頼朝は朝廷より(②)に任じられた。

[解答欄]

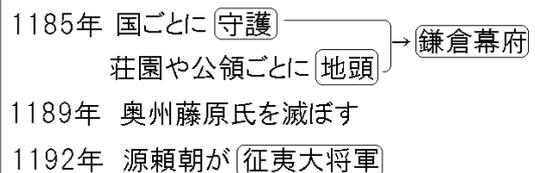
①	②
---	---

[解答]① 守護 ② 征夷大將軍

[解説]

みなものよりとも
源 頼 朝 の巨大化を恐れた後白河上皇は，
よしつね ふなか
頼朝と義経が不仲になったことにつけこみ，
ついで
義経の願いを受けて頼朝追討を命じた。これ
に対して頼朝は軍を京都に送って後白河上皇
にせまり，義経をとらえることを口実に，守護
と地頭を任命する権利を認めさせた。守護は

[[鎌倉幕府]の始まり]



国ごとに置かれ，国の中の軍事・警察や御家人の統率を行った。地頭は荘園や公領の管理，年貢の取り立て，警察にあたった。こうして頼朝は，本格的な武士の政権である鎌倉幕府を開いた。これ以降，1333 年に滅亡するまでの約 150 年間は鎌倉時代という。

ひらいずみ こんきよち おうしゅうふじわらし
義経は平泉を根拠地にしていた奥州藤原氏をたよって逃れた。頼朝は義経をかくまったことを理由に，1189 年，奥州藤原氏を攻めほろぼし，独立性の強かった東北地方も支配下においた。1192 年，源頼朝は朝廷より征夷大將軍に任じられた。(いい国(1192)めざす)。(かつては，源頼朝が征夷大將軍に任命された 1192 年を鎌倉幕府の成立としていたが，現在では，守護・地頭の任命権を獲得した 1185 年を鎌倉幕府成立の時期とする説が有力になっている。)

※出題頻度：「源義経を捕らえる口実△」「守護(国ごと)◎」「地頭(荘園や公領ごと)◎」

「鎌倉幕府○」「鎌倉時代△」「奥州藤原氏を滅ぼす△」「1192 年に征夷大將軍○」

[問題](前期中間)

守護と地頭について述べた文として正しいものをア～エからそれぞれ1つずつ選べ。

- ア 国ごとに置かれ、軍事や警察の仕事を行った。
- イ 国ごとに置かれ、年貢の取り立てを行った。
- ウ 荘園や公領ごとに置かれ、軍事や警察の仕事を行った。
- エ 荘園や公領ごとに置かれ、年貢の取り立てを行った。

[解答欄]

守護：	地頭：
-----	-----

[解答]守護：ア 地頭：エ

[問題](2学期期末)

次の文章中の①～⑤に適語を入れよ。

平氏滅亡後、後白河上皇は、源頼朝の弟の源義経に頼朝の追討を命じた。これに対して頼朝は軍を京都に送って上皇にせまり、国ごとに(①)を、荘園や公領ごとに(②)を任命する権利を獲得し、本拠地としていた(③)に、(③)幕府を開いた。頼朝は義経をかくまったことを理由に、(④)氏を攻めほろぼし、独立性の強かった東北地方も支配下においた。さらに、1192年に朝廷より(⑤)に任命された頼朝は、政治制度を整えていった。これ以降、1333年に滅亡するまでの約150年間を(③)時代という。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤			

[解答]① 守護 ② 地頭 ③ 鎌倉 ④ 奥州藤原 ⑤ 征夷大將軍

[問題](3学期)

右の肖像画の人物について、次の各問いに答えよ。

- (1) この肖像画にえがかれている人物は誰か。
- (2) (1)の人物が設置した①守護，②地頭は、それぞれどんなところに置かれたか。それぞれ「～ごと」という形で答えよ。
- (3) (1)の人物が幕府を開いたのはどこか。
- (4) (1)の人物が幕府を開いてはじまった時代を何時代というか。
- (5) (1)の人物が朝廷から征夷大將軍に任命されたのは西暦何年か。
- (6) 義経をかくまったことを理由に(1)の人物がほろぼしたのは何氏か。



[解答欄]

(1)	(2)①	②	
(3)	(4)	(5)	(6)

[解答](1) 源頼朝 (2)① 国ごと ② 荘園や公領ごと (3) 鎌倉 (4) 鎌倉時代 (5) 1192年 (6) 奥州藤原氏

[問題](3 学期)

次のア～ウまでのできごとを年代の古い順に並べ替えよ。

- ア 源頼朝が征夷大將軍に任じられる。
- イ 以仁王の命令で、源頼朝が兵をあげる。
- ウ 源氏が壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼす。
- エ 国ごとに守護、荘園や公領ごとに地頭を設置する。

[解答欄]

[解答]イ→ウ→エ→ア

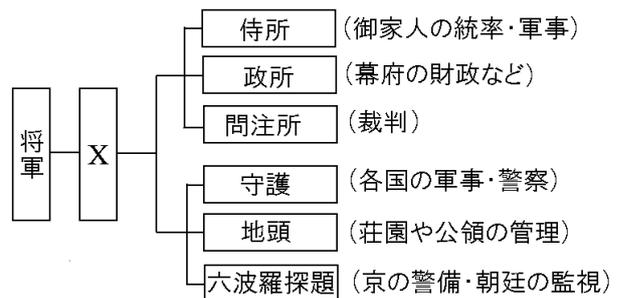
[解説]

イ(1180年)→

[鎌倉幕府のしくみ]

[問題](1 学期期末改)

右図のように、鎌倉幕府には、中央に、侍所(御家人の統率・軍事)・政所(財政など)・問注所(裁判)が置かれ、地方には守護・地頭が置かれた。これらを統括する最高職として源頼朝の死後に設けられ、北条氏が独占した X の役職は何か。

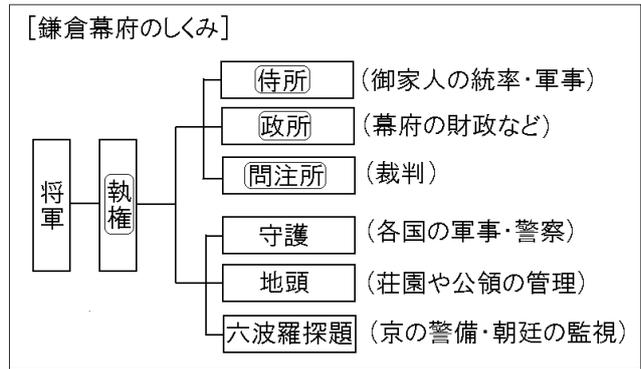


[解答欄]

[解答]執権

[解説]

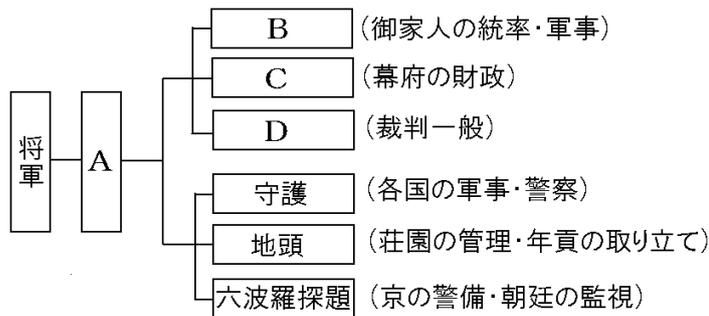
鎌倉幕府の組織は、御家人をまとめ軍事をあつかう侍所、一般政務や財政をあつかう政所、裁判を行う問注所からなっていた。また、国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭を置いた。執権は将軍を助けて政治をおこなう最高職であるが、これが設けられたのは源頼朝の死後、北条氏が独占した。また、六波羅探題は、1221年に起こった承久の乱の後、朝廷を監視するために設置された。



※出題頻度：「執権◎」「守護○」「地頭○」「六波羅探題○」「侍所△」「政所△」「問注所△」

[問題](2学期中間)

次の鎌倉幕府のしくみで、A～Dにあてはまる役職名を書け。



[解答欄]

A	B	C	D
---	---	---	---

[解答]A 執権 B 侍所 C 政所 D 問注所

【】 御恩と奉公

[問題](2 学期期末)

次の文中の①，②に適語を入れよ。

(①)とは，将軍(鎌倉殿)が御家人の領地を保護し，手柄に応じて新しく領地を与えることで，(②)とは，御家人が京都や鎌倉の警備や「いざ鎌倉」と戦いに一族を率いて参加する義務のことである。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 御恩 ② 奉公

[解説]

将軍と御家人は御恩と奉公の関係で結ばれていた。

御恩の中で一番重要なのは、家来となった武士(御家人)の土地支配を保護したことであった。源頼朝は御家人に対し、おも

に地頭に任命することによって、先祖伝来の領地を保護した。国司や近隣諸勢力との争いに絶えず悩まされていた武士にとって、「一所懸命」(生活を支える領地(一所)を、命を懸けて守る)という言葉がしばしば用いられたほど大切だった領地の支配権を認めもらうことは、何物にもかえがたい御恩であった。こ

のような御恩に対し、御家人は、平時には、京都や鎌倉の警護に

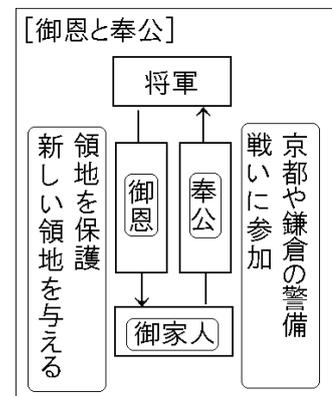
あたる義務を負い、戦時には、命をかけて鎌倉殿(源頼朝)のために戦った。これが、奉公である。さらに、鎌倉殿のために、命をかけて戦って手柄をたてたときには、没収した敵の領地を恩賞として与えられたが、これも御恩の1つである。

※出題頻度：「御恩◎：領地を保護○手柄に応じて新しい領地を与える○」

「奉公◎：戦いに参加○京都や鎌倉の警備△」「御家人◎」

※現在なら，土地を暴力で占拠されたときは警察に訴えることができるし，隣の家との境界線争いが生じたときは，民事裁判で決着をつけることができる。しかし，武士が発生した平安時代後期はそうはいかなかった。武力で土地をうばわれても国司などの役人が救ってくれるわけでもなく，また裁判に訴えて解決をはかることも難しかった。(国司は年貢を多く徴収して私腹をこやすことには熱心でも，警察・裁判など本来はたすべき職務にはほとんど無関心であった。) 鎌倉殿(源頼朝)の御家人となることによって，土地をうばわれそうになったときは，鎌倉殿の指揮のもと，御家人が結束して敵を撃退してくれるし，また御家人同士の土地争いが生じたときは鎌倉殿が公平に裁いてくれた。

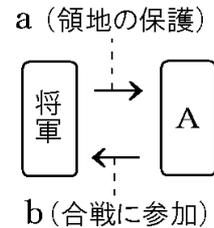
しかし，それだけではまだ十分ではなかった。平安時代，自分で開発した土地であっても，国司からの税の取り立てをまぬかれるために土地を貴族や寺社に寄進し，自分は土地を管理する荘官という私的な管理人という形式をとっており，法的には土地の所有者ではなかったからである。



1185年に、源頼朝は、朝廷にせま^{しゅご}って守護・地頭^{じとう}を任命する権限を得て、御家人をそれぞれの土地の地頭に任命した。この地頭職は、公的にも権限を得た鎌倉殿(源頼朝)によって任命された公職であったから、御家人たちは、はじめて国家公認の土地所有者(または管理者)になることができたのである。これが、御家人の鎌倉殿への忠誠を絶対のものにしたのである。

[問題](3 学期)

鎌倉時代の将軍と配下の武士(A)の関係は、右の図のようになる。
次の各問いに答えよ。



- (1) 配下の武士(A)を何というか。
- (2) 図中の a, b にあてはまる語句を次の説明を参考にして、それぞれ漢字 2 字で書け。

a : 将軍が領地を保護, 手柄に応じて新しい領地を与える。

b : 「いざ, 鎌倉!」というときには, 命がけで戦う。京都や鎌倉の警備を行う。

[解答欄]

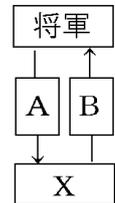
(1)	(2)a	b
-----	------	---

[解答](1) 御家人 (2)a 御恩 b 奉公

[問題](2 学期中間)

次の文を読んで、後の各問いに答えよ。

鎌倉幕府の初代将軍の()は、彼と主従関係を結んだ武士(右図の X)を統率し、武士による政治のしくみを整えていった。



- (1) 文中の()にあてはまる人名を答えよ。
- (2) 下線部について、このような武士は何と呼ばれたか。
- (3) 図の A は X が将軍から受ける恩恵である。①A を何というか。漢字 2 字で答えよ。②また、その具体的内容を次のア～オから 2 つ選べ。

ア 一族で合戦に参加する。

イ 領地の支配を認め, 保護する。

ウ 手柄に応じて新しい領地を与える。

エ 京都や鎌倉の警備を行う。

オ 九州の警備をする。

- (4) 図の B は将軍に対する X の義務である。①B を何というか。漢字 2 字で答えよ。②また、その具体的内容を(3)のア～エから 2 つ選べ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
(4)①	②		

[解答](1) 源頼朝 (2) 御家人 (3)① 御恩 ② イ, ウ (4)① 奉公 ② ア, エ

[問題](後期期末)

鎌倉時代の将軍と御家人の間の、「御恩」と「奉公」とはどのようなことを意味するか。それぞれ簡潔に説明せよ。

[解答欄]

御恩：
奉公：

[解答]御恩：御家人の領地を保護し、手柄に応じて新しい領地をあたえること。

奉公：戦いに参加すること。京都や鎌倉の警備を行うこと。

【】 執権政治の時代

【】 承久の乱

[北条氏の執権政治]

[問題](3 学期改)

源頼朝の死後、幕府内で争いが起こり、やがて幕府の実権は有力な御家人をまとめた北条時政(頼朝の妻北条政子の父)がにぎった。以後、北条氏は将軍の力を弱めて(X)の地位を独占して幕府の実権をにぎった。これを(X)政治という。文中の X にあてはまる適語を入れよ。

[解答欄]

[解答] 執権

[解説]

1199 年に源頼朝みなもとのよりともが死んだ後、第 2 代将軍よりいえの源頼家と御家人ごけにんの争いや、御家人どうしの争いが起こり、やがて幕府の実権は有力な御家人をまとめた北条時政ほうじょうときまさ(頼朝の妻北条政子ほうじょうまさこの父)がにぎった。以後、北条氏は将軍の力を弱めて執権しっけんの地位を独占して幕府の実権をにぎった。これを執権政治という。
※出題頻度：「執権政治○：北条氏○が執権◎の地位を独占」「北条時政△」

【執権政治】
源頼朝の死後、実権は北条氏
→ 執権 の地位を独占

[問題](後期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 源頼朝の死後、有力な御家人をまとめて幕府の実権をにぎったのは何氏か。
- (2) (1)は何という地位を独占したか。
- (3) 以後、鎌倉時代の半ばごろまで、幕府の政治は、(2)を中心とする有力な御家人の話し合いによって行われた。この政治を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 北条氏 (2) 執権 (3) 執権政治

[問題](2 学期期末)

次の文章中の①～⑤に適語を入れよ。

鎌倉幕府を開いた(①)の死後、第 2 代将軍の源頼家と御家人や、御家人どうしの争いが起こり、やがて幕府の実権は有力な御家人をまとめた(②)(①)の妻政子の父)がにぎった。以後、(③)氏は将軍の力を弱めて将軍の補佐役である(④)の地位を独占して幕府の実権をにぎった。この政治を(⑤)という。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤			

[解答]① 源頼朝 ② 北条時政 ③ 北条 ④ 執権 ⑤ 執権政治

[問題](2 学期期末)

源頼朝の死後、北条氏の勢力はどのようになったか。「執権」「実権」という語句を使って説明せよ。

[解答欄]

--

[解答]北条氏は執権の地位を独占して幕府の実権をにぎった。

[承久の乱]

[問題](2 学期中間改)

次の文章中の①, ②に適語を入れよ。

源頼朝の死後、幕府の実権は北条氏に移った。第3代将軍の源実朝が殺害される事件が起きると、幕府の動揺を好機とみた(①)上皇は、1221年、執権であった北条義時追討の命令を出して、幕府を倒すために兵を挙げた。これを承久の乱という。「朝敵」になることをおそれ動揺する御家人に対し、(②)(源頼朝の未亡人)は「みなもの者、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝公が 朝廷の敵(平氏)をたおし、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海よりも深いものでした。…名誉を大事にする者は、京都(朝廷)に向かって出陣し、逆臣をうち取り幕府を守りなさい。」と御恩と奉公を強調し、御家人に結束を呼びかけた。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 後鳥羽 ② 北条政子

[解説]

武士の勢力が全国各地でのびていくにつれて、朝廷や貴族の反感は強まった。ことに貴族の経済的基礎である荘園が地頭によっておかされつつあったことは、危機感をいっそう増大させた。源頼朝の死後、幕府の実権は北条氏に移り、有力な御家人の争いが続いた。

[[承久の乱]]

1221年 後鳥羽上皇
執権北条義時の追討を命じる
↓
北条政子(源頼朝の妻)
御家人の結束を呼びかける
(御恩と奉公を強調)

第3代将軍の源実朝みなものさねともが殺害される事件が起きると、幕府の動揺どうようを好機こうきとみた後鳥羽上皇ごとうぼじょうこうは、1221年に、第2代執権しゅうけんの北条義時ほうじょうよしとき追討おいついの命令を出し、幕府を倒そうと兵をあげた。これが承久じょうきゅうの乱である。(人に二色(1221)承久じょうきゅうの乱)(北条義時よしまさは初代執権北条時政ときまさの次男で、北条政子まさこの弟である。) この時代を「鎌倉時代」といっているが、実質的には朝廷と幕府の二大勢力が共存しており、天皇・上皇の朝廷の精神的な權威けんいはいぜんとして大きかった。この知らせを聞いた御家人たちは、朝廷方と戦えば「朝敵」となるのではないかと動揺した。このような御家人を前に、源頼朝みぼうじんの未亡人みぼうじんである北条政子まさこが、「みなもの者、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝公ちようてきが朝廷の敵(平氏)をたおし、幕府を開いてこのかた、官職くわんしやくといい、土地といい、その恩は山より高く、海よりも深いものでした。…名誉を大事にする者は、京都(朝廷)に向かって出陣し、逆臣ぎやくしんをうち取り幕府を守りなさい。」と説得した。政子は次のようにも言っている。「侍は、昔は3年のあいだ京都の守りにつくことを一生の大事と思い、一族いちぞく、郎党ろうとうまで晴れやかに出発したが、3年の京生活に力つき、国に下るときは、はだしでやっと帰ってきた。それを頼朝殿があわれに思われて、3年を半年に縮めてくださったので、皆よろこんだものだ。この御恩ごおんを忘れて、このたび京方へつくか、将軍しょうぐんに奉公ほうこうするか、今はっきり言い切ってみなさい。」これで流れは変わった。御家人たちは、以前の悲惨ひさんな境遇きょうぐうを思い出し、団結して朝廷に刃向かうことを決心したのである。

※出題頻度：「承久の乱◎」「後鳥羽上皇◎：執権北条義時の追討△」

「北条政子◎の演説：源頼朝の妻△、御恩と奉公△、御家人の結束△」

[問題](前期期末)

次の文を読んで、後の各問いに答えよ。

源頼朝の死後、幕府の実権は(①)氏に移り、有力な御家人の争いが続いた。第3代将軍の源実朝が殺害される事件が起きると、幕府の動揺を好機とみた(②)上皇は、1221年、幕府を倒そうと兵をあげた。

- (1) 文章中の①、②に適語を入れよ。
- (2) このできごとを何というか。
- (3) 動揺する御家人に対し、「みなもの者、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝公が朝廷の敵(平氏)をたおし、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海よりも深いものでした。…名誉を大事にする者は、京都(朝廷)に向かって出陣し、逆臣をうち取り幕府を守りなさい。」と説得した人物は誰か。

[解答欄]

(1)①	②	(2)	(3)
------	---	-----	-----

[解答](1)① 北条 ② 後鳥羽 (2) 承久の乱 (3) 北条政子

[問題](2 学期中間)

次の資料を読んで、後の各問いに答えよ。

(資料) みなの者、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。(A)公が B 朝廷の敵をたおし、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海よりも深いものでした。…名誉を大事にする者は、C 京都に向かって出陣し、逆臣をうち取り幕府を守りなさい。

- (1) 資料の言葉は、①何という乱のときに、②だれが訴えたものか。
- (2) A に入る人物は誰か。
- (3) A の人物と(1)②の人物の関係は次の[]のうちのどれか。1つ選べ。
[兄と妹 母親と息子 父親と娘 夫と妻]
- (4) 下線部 B は次の[]のどれをさしているか。次の中から選べ。
[源氏 平氏 将軍]
- (5) 下線部 C の京都で幕府を倒す命令を出した朝廷側の中心人物は誰か。
- (6) (5)の人物が倒そうとしていた当時の幕府の執権は誰か。
- (7) (1)①の乱が起きたのは西暦何年か。

[解答欄]

(1)①	②	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)	(7)

[解答](1)① 承久の乱 ② 北条政子 (2) 頼朝(源頼朝) (3) 夫と妻 (4) 平氏
(5) 後鳥羽上皇 (6) 北条義時 (7) 1221 年

[問題](後期中間)

次の史料は、源頼朝の妻で尼将軍と呼ばれた人物が、ある争乱の際に武士たちに訴えた内容の要約である。

a みなの者、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝公が朝廷の敵をたおし、幕府を開いてこのかた、b 官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海よりも深いものでした。それに報いたいという志は浅くないはずです。c 名誉を大事にする者は、京都に向かって出陣し、逆臣を討ち取り、幕府を守りなさい。

- (1) この訴えがおこなわれたのは、何という争乱がおきたときか。①その争乱の名称を書け。
②また、この乱を起こした上皇の名前を答えよ。
- (2) この訴えをおこなった源頼朝の妻であった人物の名前を答えよ。
- (3) 下線部の a 「みな」の者」とは何と呼ばれる武士か。
- (4) 文中の下線部 b, c のことをそれぞれ漢字 2 字で言い換えよ。

[解答欄]

(1)①	②	(2)	(3)
(4)b	c		

[解答](1)① 承久の乱 ② 後鳥羽上皇 (2) 北条政子 (3) 御家人 (4)b 御恩 c 奉公

[承久の乱の後]

[問題](1 学期中間改)

次の文章中の①, ②に適語を入れよ。

承久の乱で、幕府は大軍で上皇方を破り、後鳥羽上皇は隠岐(島根県)に流された。乱後、幕府は、(①)を監視するために、京都に(②)という役所を置いた。また、上皇方についての貴族や西日本の武士の領地を取り上げ、地頭に東日本の御家人を任命した(恩賞として土地を与えた)。これによって、幕府の支配力は西日本にも広がっていちだんと強まった。



[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 朝廷 ② 六波羅探題

[解説]

承久の乱で、幕府は大軍を率いて上皇方を破り、後鳥羽上皇は隠岐(島根県)に流された。乱後、幕府は、朝廷を監視するために、京都に六波羅探題という役所を置いた。



[承久の乱の後]

後鳥羽上皇→隠岐

六波羅探題：朝廷の監視

幕府の支配が西日本にも広がった

また、上皇方についての貴族や西日本の武士の領地を取り

上げ、地頭に東日本の御家人を任命した(恩賞として土地を与えた)。これによって、幕府の支配力は西日本にも広がっていちだんと強まった。

※出題頻度：「六波羅探題◎：朝廷を監視するため◎」「上皇方についての貴族や西日本の武士の領地を取り上げ、地頭に東日本の御家人を任命○→幕府の支配が西日本にも広がった○」「隠岐(地図△)」

[問題](前期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 承久の乱の後、幕府は京都にあらたな役所を設置した。①その役所の名前を答えよ。

②また、どこを監視するために置いたか。

(2) 承久の乱の影響について述べた次の文中の①, ②の()内からそれぞれ適語を選べ。

上皇側に味方した貴族や武士から取り上げた土地を①(東国／西国)の武士に与え、幕府の支配を固めた。その結果、幕府の支配が②(東日本／西日本)にもおよぶこととなった。

[解答欄]

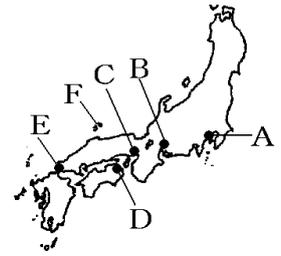
(1)①	②	(2)①	②
------	---	------	---

[解答](1)① 六波羅探題 ② 朝廷 (2)① 東国 ② 西日本

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 承久の乱の後、幕府が京都に新設した役所は何か。
- (2) (1)の役所を新設した目的は何か。「朝廷」という語句を使って説明せよ。
- (3) 承久の乱の後、①後鳥羽上皇はどこに流されたか。②またその場所を、右図の A～F から選べ。
- (4) 承久の乱後、上皇に味方をした朝廷の人々や武士からとりあげた土地は()。文中の()にあてはまる文を下のア～ウから選べ。
 ア 幕府方の武士に恩賞として与えられた。
 イ すべて幕府のものとした。
 ウ 上皇に味方した武士にもどされた。
- (5) 承久の乱後に幕府の支配力はどのように変化したか。「東日本」「西日本」という語句を使って説明せよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)①
②	(4)	
(5)		

[解答](1) 六波羅探題 (2) 朝廷を監視するため。 (3)① 隠岐 ② F (4) ア
 (5) 幕府の支配力が東日本だけでなく西日本にまで及ぶようになった。

[問題](入試問題)

次の X に当てはまる内容を「土地」「東日本の武士」という 2 つの語句を用いて書け。

鎌倉幕府が成立したころ、その支配の及ぶ範囲は限られていた。しかし、承久の乱の後、京都に六波羅探題をおいて朝廷を監視するとともに、(X)ことで西日本にも幕府の力が広く及ぶようになった。

(岡山県)

[解答欄]

--

[解答]上皇に味方した貴族や西日本の武士の土地を取り上げ、その場所の地頭に東日本の武士を任命した

【】 御成敗式目

[地頭の荘園侵略]

[問題](1 学期期末)

鎌倉時代、地頭の勢力が強くなり荘園への支配権を拡大していったため、荘園領主との間で争いが激しくなった。荘園領主は幕府に訴えて地頭の年貢未納をおさえようとした。しかし、現地に根を下ろした地頭の行動を阻止することは難しかったため、荘園の半分を地頭に分ける妥協などが行われた。下線部を何というか。漢字 4 字で答えよ。

[解答欄]

[解答]下地中分

[解説]

所領支配を拡大しようとする武士たちは、荘園・公領の領主や、近隣の武士とのあいだで年貢の徴収や境界の問題をめぐって紛争をおこすことが多かった。とくに承久の乱後には、畿内・西国地方にも多くの地頭が任命され、荘園への支配権を拡大したため、荘園領主との間で争いが激しくなった。この争いは幕府によって裁かれ、右の地図のように、土地を地頭と領家で分け合う下地中分が行われたり、地頭が一定の額の年貢をうけ負って、領主におさめるようになったりした。こうして、土地に対する地頭の権利は、しだいに領主と同じように強いものになっていった。

※出題頻度：「地頭が荘園への支配権を拡大△→下地中分△」

[地頭の荘園侵略]

地頭が荘園への支配権を拡大
→下地中分(次の図)



[問題](入試問題)

Mさんは、鎌倉時代における、地頭と領家(荘園の領主)の争いが読みとれる右の資料をみつけた。資料から、ここでの争いはどのように解決されたのかを、「地頭」という語句を使って書け。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]土地を地頭と領家で分け合う下地中分が行われた。



【御成敗式目】

【問題】(後期中間)

鎌倉幕府の権力の拡大とともに、地頭の勢力も次第に強まり、荘園領主との間で争いがおこった。特に、1221年の承久の乱後は、西日本にも東日本の武士が地頭として進出したため、現地の支配権をめぐる荘園領主などとの争いが拡大した。こうした状況に対応するためもあって、1232年、執権の北条泰時は、武士の慣習をもとに裁判の基準を定め、争いを公正に解決するために(X)を制定した。文中の X に適語を入れよ。

【解答欄】

【解答】御成敗式目

【解説】

この当時の法律としては、朝廷の律令などがあったが、ほとんど空文化していた。武家社会においては、武士がそれまで育んできた慣習や道徳を重んじ、紛争を処理する規範としてきた。しかし、当時道理と呼ばれた慣習や道徳は、地域によって異なったり、相互に矛盾したりする場合もあった。また、承久の乱の後、西日本にも東日本の武士が地頭として進出したため、現地の支配権をめぐる荘園領主などとの争いが拡大した。

【御成敗式目】

武士の慣習をもとに
裁判の基準を定め、
争いを公正に解決するため
1232年 北条泰時が制定

こうした状況に対応するためもあって、1232年、執権の北条泰時は、武士の慣習をもとに裁判の基準を定め、争いを公正に解決するために御成敗式目(貞永式目)を制定した。(御成敗式目、一文(ひとふみ)に(1232))

※出題頻度：「御成敗式目◎」「北条泰時○」「武士の慣習をもとに裁判の基準を定め△、争いを公正に解決するため△」

【問題】(2 学期期末)

次の資料を読んで、後の各問いに答えよ。

「この式目は、ものの道理を書いたものである。真実よりもその人の勢力の強さによって判決したりすることもあるので、あらかじめ裁判の基準を定めて、公平に裁判できるように、こまかく書いておいたのである。律令に比べれば多くの人にわかりやすいように書いてある。また、武家の人々のためにつくったものであるから、このきまりによって朝廷の出す律令のきまりが変更されることはない。」

- (1) 上の資料にある「この式目」とは何か。
- (2) (1)を定めた人物は誰か。
- (3) (1)を定めた目的を資料から抜き出して答えよ。

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) 御成敗式目(貞永式目) (2) 北条泰時 (3) あらかじめ裁判の基準を定めて、公平に裁判できるように

[問題](入試問題)

北条泰時は御成敗式目を制定した。この法令を制定した目的を、「慣習」、「公正」の2つの語句を用いて書け。

(新潟県)

[解答欄]

--

[解答]武士の慣習をもとに裁判の基準を定め、争いを公正に解決するため。

[問題](入試問題)

次の文章中の①に当てはまる内容をあとのア～エから選べ。また、②、③に適語を入れよ。

承久の乱の後、鎌倉幕府の支配が西日本に広がり、(①)の間で土地をめぐる争いが増加した。1232年、執権の(②)は、このような争いに対応するため、武士の社会の慣習に基づいて(③)を制定し、裁判の基準とした。

ア 諸国の武士と朝廷を思うように動かすようになった平氏

イ 国内の武士と一国を支配するようになった守護大名

ウ 荘園の領主と地頭に任命された武士

エ 都から派遣された国司と地方の豪族から任命された郡司

(広島県改)

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① ウ ② 北条泰時 ③ 御成敗式目

[問題](1 学期期末)

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ(または、適語を選べ)。

鎌倉幕府の権力の拡大とともに、地頭の勢力も次第に強まり、荘園領主との間で争いがおこった。特に、1221年の(①)の乱後は、②(東日本／西日本)にも③(東日本／西日本)の武士が④(守護／地頭)として進出したため、現地の支配権をめぐる荘園領主などとの争いが拡大した。こうした状況に対応するためもあって、1232年、執権の(⑤)は(⑥)を制定し、⑦(御家人に有利な／公平な)裁定を下すように努めた。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

[解答]① 承久 ② 西日本 ③ 東日本 ④ 地頭 ⑤ 北条泰時 ⑥ 御成敗式目

⑦ 公平な

【】 武士と民衆の生活

[武士の生活]

[問題](前期中間)

鎌倉時代の御家人の様子をのべたものとして間違っているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 荘園や公領に堀と塀をめぐらせた館を構え、下人や農民を使って農業を営んでいた。
- イ 流鏑馬や笠懸といった武芸の訓練に励み、「弓馬の道」や「武士の道」が重んじられた。
- ウ 御家人の家は、一族の長である惣領が中心となって団結していた。
- エ 領地は、分割相続により代々、男子のみ相続した。

[解答欄]

--

[解答]エ

[解説]

武士は荘園や公領に堀と塀をめぐらせた館を構えて生活し、土地の開発を進め、下人や農民を使って農業を営んでいた。

武士は常に馬や弓矢の武芸によって心身をきたえた。「弓馬の道」, 「武士(もののふ)の道」と呼ばれる、名を重んじ、恥を知る態度などの武士らしい心構えが育っていった。武芸の訓練方法としては、例えば、馬の上からの的にした笠を射る笠懸, 馬の上から連続した3つの的を射る流鏑馬などがある。

武士の家は、一族の長である惣領が中心となって子や兄弟などをまとめ、団結していた。領地は分割相続で、女子にもあたえられたので、女性の地頭も多くいた。

※出題頻度：この単元はときどき出題される。

[武士の生活]

- ・弓馬の道
- ・笠懸, 流鏑馬, 犬追物
- ・堀と塀をめぐらせた館
- ・惣領, 分割相続

(武士の館)



(笠懸)



[問題](2学期期末)

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

(①)や公領に館を構えた武士は、つねに馬や弓矢の武芸によって心身をきたえていた。「(②)」や「武士(もののふ)の道」などと呼ばれる、名誉を重んじ、恥をきらう態度や武士らしい心構えが育っていった。武士の家は、一族の長である(③)が中心となって子や兄弟などをまとめ、団結していた。領地は(④)相続で、女子にもあたえられたので、女性の地頭も多くいた。

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 荘園 ② 弓馬の道 ③ 惣領 ④ 分割

[二重支配を受ける農民]

[問題](2 学期中間)

次の資料からわかることをア～ウから 1 つ選べ。

(資料)荘園領主への訴状

材木の納入のことですが、地頭が何かにつけて人夫としてこき使うので、そのひまがありません。残されたわずかの者を、材木を山から運ぶために送ると、「逃げた農民の畑に麦をまけ」と地頭に追い返されてしまいました。…

ア 各地で土地の開墾がすすめられた。

イ 農民は荘園領主と地頭の二重支配に苦しんでいた。

ウ 農業生産が高まり、農民の生活は向上した。

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

地頭は、荘園領主に納める年貢の取り立てを請け負い、田畑・山野や河川・海などから取れる産物の一部を自分の物とした。荘園や公領の農民たちは、荘園領主へ納める年貢だけでなく、地頭に対するさまざまな労役なども負担しなければならず、荘園領主と地頭による二重の支配に苦しめられることもあった。

※出題頻度：「荘園領主と地頭による二重の支配△」

[問題](2 学期中間)

鎌倉時代の農民の暮らしでは、きびしい生活を強いられることになった。その理由を「荘園領主」「地頭」の 2 つの言葉を使って、説明せよ。

[解答欄]

[解答]荘園領主と地頭による二重の支配を受けていたから。

[農業の発達]

[問題](1 学期期末)

鎌倉時代，農作業に牛や馬が利用され，鉄製の農具がいっそう普及し，草や木を焼いた灰が肥料として使われ，1 つの耕地で米と裏作として麦を作る農業が行われるようになった。下線部を何というか。

[解答欄]

[解答]二毛作

[解説]

鎌倉時代，農業生産が向上した。これに関して，よく出題されるのは，二毛作の普及である。二毛作は表作として米を作り，裏作として麦を作るものであったが，土地がやせるのをふせぐために，草や木を焼いた灰が肥料として使われた。また，1 つの土地を水田として利用した後，水を落として畑として使い，翌年ふたたび水を引き込んで水田にするためには，灌漑用水の整備や田畑の耕作など手間がかかるようになった。牛や馬の利用，鉄製の農具の普及による農作業の効率化によって，こうしたことが可能になったと考えられる。

[鎌倉時代の農業の発達]

二毛作(米と麦)

牛馬，肥料(草木灰)，鉄製農具

※出題頻度：「二毛作○」「牛馬△」「草木灰△」

[問題](3 学期)

鎌倉時代には農業技術が進歩したが，鎌倉時代に普及した農業技術にあてはまるものを，次のア～エからすべて選び，記号で答えよ。

ア 牛馬による耕作

イ 備中ぐわ

ウ 二毛作

エ 灰を用いた肥料

[解答欄]

[解答]ア，ウ，エ

[解説]

イの備中ぐわは江戸時代である。

[商業の発達]

[問題](2 学期中間)

鎌倉時代、寺社の門前や交通の便利なところで、月に 3 回ほど開かれていた市場を何というか。

[解答欄]

--

[解答]定期市

[解説]

農業生産の向上は、農業以外にたずさわる人々を生み出す^{よゆう}余裕を社会に与え、農村には、農具を作る^{かじや}鍛冶屋や^{そめもの}染物をあつかう^{こんや}紺屋などの手工業者が住みついた。

寺社の門前や交通の便利なところで、**定期市**



寺社の門前や交通の便利なところでは、月に 3 回の^{ていきいち}定期市が開かれ、これらの物資が売買されるようになった。

※出題頻度：「定期市〇」

[問題](3 学期)

次の文章中の①、②に適語を入れよ。

鎌倉時代には、米の裏作に麦をつくる(①)も行われるようになった。また、寺社の門前や交通の便利なところで(②)が開かれ、米や布などの日用品が売買された。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 二毛作 ② 定期市

[問題](3 学期)

鎌倉時代の人々のくらしの説明として、適当でないものを次のア～エから 1 つ選べ。

ア 農業技術が進歩し、生産性が高まった。

イ 裏作に麦をつくる二期作が行われるようになった。

ウ 農村には、農具を作る鍛冶屋や染物をあつかう紺屋などの手工業者が住みついた。

エ 寺社の門前や交通の便利な所において、月に 3 回の定期市が開かれた。

[解答欄]

--

[解答]イ

[解説]

イが誤り。「二期作」ではなく「二毛作」が行われるようになった。

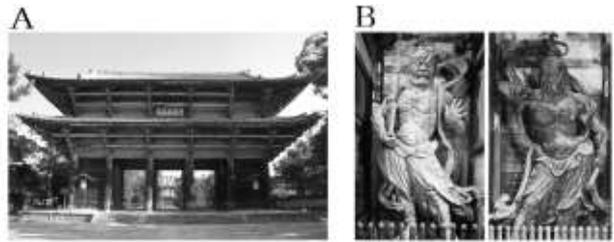
【】鎌倉時代の文化と宗教

【】鎌倉時代の文化

[東大寺南大門・金剛力士像]

[問題](3 学期改)

鎌倉時代には、宋の文化や武士の好みを反映した、写実的で力強い文化が生まれた。鎌倉時代に再建された東大寺南大門(右図 A)には、運慶が製作した右図 B のような写実的で力強い彫刻がおさめられている。図 B の作品の名前を答えよ。



[解答欄]

[解答]金剛力士像

[解説]

鎌倉時代には、平安時代の文化を受けつぎつつ、宋の文化や武士の好みを反映した、写実的で力強い文化が生まれた。この時代の代表的な彫刻は金剛力士像で、運慶の作である。写実的で力強いのが特徴である。金剛力士像が置かれている東大寺南大門(現在の奈良市にある)は鎌倉時代に再建された。現在の7階建ての建物ほどの高さがある大建築で、中国の影響を受けている。



※出題頻度：「東大寺南大門○」「金剛力士像◎：運慶○」「写実的で力強い○」

[問題](3 学期)

右は東大寺南大門にある金剛力士像(作者は運慶)である。この資料からわかる、鎌倉時代の文化の特色として正しいものを次のア～エから1つ選べ。

- ア 武家をにない手とする簡素で気品のある文化
- イ 写実的で力強い文化
- ウ 国際色豊かな文化
- エ 優美な貴族の文化



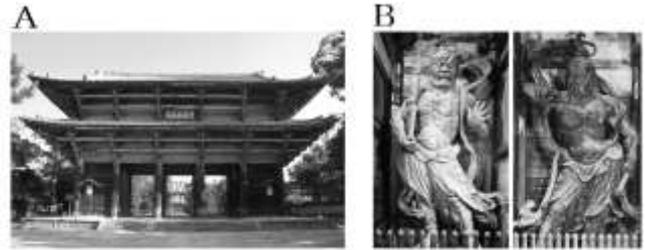
[解答欄]

[解答]イ

[問題](2学期中間)

右の写真を見て、各問いに答えよ。

- (1) 写真 A は、現在の奈良市にある寺院の門である。この建物を何というか。
- (2) 写真 B の彫刻は、A の内部に置かれている。これを何というか。
- (3) (2)の彫刻の作者の名前を答えよ。



- (4) 鎌倉時代の文化の特色として最も適するものを次のア～エから 1 つ選べ。

- ア 京都の貴族の文化と武士の文化が、混じり合った文化
- イ 大名や豪商の権力や富を背景にした、豪華で壮大な文化
- ウ 力を伸ばした武士の気風に合った、写実的で力強い文化
- エ 唐からもたらされた文化の影響を受けた、国際的な文化

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 東大寺南大門 (2) 金剛力士像 (3) 運慶 (4) ウ

[問題](後期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 右の資料の像を何というか。
- (2) (1)の像の作者は誰か。
- (3) (1)の像が置かれている寺の門を何というか。
- (4) (3)の寺のある場所を地図中の a～d から選べ。



- (5) 武士や民衆の力がのびた鎌倉時代の彫刻は、どのような特徴を持っているか。上の資料を見て、簡潔に説明せよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 金剛力士像 (2) 運慶 (3) 東大寺南大門 (4) d (5) 写実的で力強い。

[解説]

東大寺南大門は現在の奈良市(地図の d)にある。

[文学]

[問題](2 学期期末改)

次の文中の①, ②に適語を入れよ。

鎌倉時代の代表的な文学作品としては、後鳥羽上皇の命令で藤原定家らが編集した(①)和歌集、兼好法師の徒然草や、鴨長明の方丈記などの随筆がある。また、平氏の繁栄と滅亡を情感豊かにえがき、「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。…」で始まり、琵琶法師によって広められた(②)物語がある。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 新古今 ② 平家

[解説]

「^{ぎおんしやうじゃ}祇園精舎の^{かね}鐘の^{しよぎやうむじやう}声、^{ひびき}諸行無常の響きあり。…」で始まるのは平家物語である。平氏の繁栄から没落までをえがいた平家物語は、^{びわほうし}琵琶法師によって広められた。和歌集としては、^{ごとほじやうこう}後鳥羽上皇の命令で^{ていか}藤原定家らが編集した^{しんこきんわかしゆ}新古今和歌集がある。

随筆としては、^{けんこうほうし}兼好法師の^{つれづれぐさ}徒然草(「つれづれなるままに、日ぐらし^{すずり}硯にむかいて…」)、^{かものちやうめい}鴨長明の^{ほうじやうき}方丈記(「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。…」)がある。

※出題頻度：「平家物語◎：琵琶法師○」「新古今和歌集○：後鳥羽上皇△藤原定家△」

「徒然草○：兼好法師△」「方丈記△：鴨長明△」

[文学]

平家物語(琵琶法師)

新古今和歌集(後鳥羽上皇)

徒然草(兼好法師),方丈記(鴨長明)

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。…」で始まる文学作品名を書け。
- (2) (1)を広めた右図のような人々を何というか。
- (3) 後鳥羽上皇の命令で編集された和歌集は何か。
- (4) 「つれづれなるままに、日ぐらし硯(すずり)にむかいて…」で始まる兼好法師が書いた随筆は何か。
- (5) 「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。…」で始まる鴨長明が社会のむなしさを説いた随筆は何か。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 平家物語 (2) 琵琶法師 (3) 新古今和歌集 (4) 徒然草 (5) 方丈記

[問題](2 学期期末)

次の A～C は鎌倉時代の文学作品の書き出しである。これについて、後の各問いに答えよ。

A 「つれづれなるままに、日ぐらし硯にむかいて・・・」

B 「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。・・・」

C 「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。・・・」

(1) A について、①何という作品か。②作者は誰か。

(2) B について、①何という作品か。②作者は誰か。

(3) C につて、①何という作品か。②この作品が文字の読めない民衆にも広まった理由を、右の資料を参考に説明せよ。

(4) ①藤原定家が編集した和歌集は何か。②また、その編纂を命じた上皇の名前を答えよ。



[解答欄]

(1)①	②	(2)①	②
(3)①	②		
(4)①	②		

[解答](1)① 徒然草 ② 兼好法師 (2)① 方丈記 ② 鴨長明 (3)①平家物語

② 琵琶法師が弾き語りをすることで広めていったから。 (4)① 新古今和歌集

② 後鳥羽上皇

【】 鎌倉仏教

[鎌倉仏教の特色]

[問題](2 学期中間)

鎌倉時代の新しい仏教の特色を次のア～エから 1 つ選べ。

- ア いずれも人里離れた山奥での修行を重んじた。
- イ 武士の気風に合っていたことから、すべての宗派が幕府に保護された。
- ウ 分かりやすく、実行しやすい教えが多く、武士や民衆の間に広まった。
- エ 武家の精神に反するとして、幕府より厳しい迫害を受けた。

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

鎌倉時代にあらわれた仏教の各宗派は、分かりやすく、実行しやすかったので、民衆や武士の間に広がっていった。
※出題頻度：「分かりやすく、実行しやすかった○→民衆や武士に広がる△」

[鎌倉仏教の特色]

分かりやすく、実行しやすかった

↓
民衆や武士の間に広がる

[問題](2 学期中間)

鎌倉時代に新しい仏教がおこってきたが、それらの教えが急速に広まっていった理由を簡潔に説明せよ。

[解答欄]

[解答]分かりやすく、実行しやすかったから。

[念仏の系統(浄土宗・浄土真宗・時宗)]

[問題](2 学期中間改)

鎌倉時代には、新しい仏教の教えが広まった。その代表的なものは、平安時代の浄土信仰の流れをくむ念仏(南無阿弥陀仏)の系統である。法然は浄土宗を開き、阿弥陀仏を信じただけで念仏せよと説いた。法然の弟子の(X)は、浄土真宗を開き、「善人ですら往生できる、まして悪人ならなおさらのことだ」と説いた。また、一遍は時宗を開き、布教の方法として念仏札や踊念仏を取り入れ、全国を歩きまわって布教した。文中の X に適する人物名を答えよ。

[解答欄]

[解答]親鸞

【解説】

鎌倉時代には、新しい仏教の教えが広まった。その代表的なものは、平安時代の浄土信仰の流れをくむ念仏(南無阿弥陀仏)の系統である。法然は浄土宗を開き、

きびしい修行を行わないでも、阿弥陀仏にすがり「南無阿弥陀仏」と唱えさえすれば極楽浄土に往生できると説いた。法然の弟子の親鸞は浄土真宗を開き、「善人ですら往生できる、まして悪人ならなおさらのことだ」という悪人正機説を唱えた。ここでいう「悪人」とは「悩みの多い人」という意味である。慈悲深い阿弥陀仏は、こうした悩める人こそ救おうとしているのだと説いた。一遍は時宗を開き、布教の方法として、念仏札や右図のような踊念仏を取り入れ、全国を歩きまわって布教した。(かねをたたき、足をふみならして「南無阿弥陀仏」を唱える様子がうかがえる)

[念仏(南無阿弥陀仏)の系統]

浄土宗：法然 念仏

浄土真宗：親鸞 念仏, 悪人正機説

時宗：一遍 踊念仏



(踊念仏)

※出題頻度：「念仏(南無阿弥陀仏)△」「浄土宗○：法然○」「浄土真宗◎：親鸞○」「時宗○：一遍◎，踊念仏○」

【問題】(後期中間)

次の念仏の3つの宗派名を書け。

- ① 法然は、阿弥陀如来の救いを信じて一心に念仏を唱えることを説いた。
- ② 法然の弟子である親鸞は、自分の罪を自覚した悪人こそが救われると説いた。
- ③ 一遍は、布教の方法として念仏札や踊念仏を取り入れ、全国を歩きまわって布教した。

【解答欄】

①	②	③
---	---	---

【解答】① 浄土宗 ② 浄土真宗 ③ 時宗

【問題】(1学期中間)

次の文章中の①～⑦に適する人物名や語句を答えよ。

(①)は浄土宗を開き、一心に「南無阿弥陀仏」と(②)を唱えれば、だれでも極楽浄土に生まれ変わると説いた。(①)の弟子の(③)は、(④)宗を開き、「善人ですら往生できる、まして悪人ならなおさらのことだ」と説いた。また、(⑤)は(⑥)宗を開き、右図のような(⑦)や念仏札を配って教えを広めた。



【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

[解答]① 法然 ② 念仏 ③ 親鸞 ④ 浄土真 ⑤ 一遍 ⑥ 時 ⑦ 踊念仏

[禅宗]

[問題](2 学期期末改)

次の文中の①, ②に適語を入れよ。

栄西や道元は、(①)によって自分の力でさとりを開こうとする(②)宗を宋から伝え、栄西は臨済宗を、道元は曹洞宗を開いた。(②)宗は武士の気風によく合ったため、武士の間に広がり、幕府の保護を受けた。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 座禅 ② 禅

[解説]

鎌倉仏教の第二の系統は、禅宗である。栄西や道元は、座禅によって自分の力でさとりを開こうとする禅宗を宋から伝え、栄西は臨済宗を、道元は曹洞宗を開いた。禅宗は武士の気風によく合ったため、武士の間に広がり、幕府の保護を受けた。

※出題頻度：「禅宗○」「宋△」「座禅によってさとりを開く○」「臨済宗△：栄西○」「曹洞宗△：道元○」

[[禅宗] 宋から伝わる

座禅によってさとりを開く

武士の間に広がる

臨済宗：栄西

曹洞宗：道元

[問題](3 学期)

次の文中の①～④に適語を入れよ(または、適語を選べ)。

栄西や道元が①(元/宋)から伝えた禅宗は、(②)という修行方法によって自分の力でさとりを開こうとするものであったため、武士の気風によく合い、武士の間に広がった。栄西は(③)宗を、道元は(④)宗を開いた。

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 宋 ② 座禅 ③ 臨済 ④ 曹洞

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 鎌倉時代、座禅によって自分の力でさとりを開こうとする宗派が宋から伝わった。この宗派をまとめて何というか。漢字 2 字で答えよ。

(2) (1)を開いた 2 人の開祖の名前とその宗派の名前を答えよ。

(3) (1)の宗派はどのような階層を中心に信仰されたか。次の[]から 1 つ選べ。

[貴族 武士 農民]

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 禅宗 (2) 栄西・臨濟宗, 道元・曹洞宗 (3) 武士

[日蓮宗]

[問題](2 学期期末)

「南無妙法蓮華經」という題目を唱え、法華經を信仰することで人も国家も救われると説き、新しい宗派を開いた人物は誰か答えよ。

[解答欄]

--

[解答]日蓮

[解説]

鎌倉仏教の第三の系統は、^{だいもく なむみょうほうれんげきょう}題目(南無妙法蓮華經)の系統である。
^{にちれん ほっけしゅう}日蓮は日蓮宗(法華宗)を開き、^{ほけきょう}法華經こそ仏教の根本であると説き、他宗をきびしく批判した。

[日蓮宗(法華宗)]
開祖は 日蓮
題目 南無妙法蓮華經

※出題頻度：「日蓮宗○：日蓮○」「題目○(南無妙法蓮華經△)」

[問題](3 学期)

次の文中の①～③に適語を入れよ。

(①)は「南無妙法蓮華經」の(②)を唱えれば救われると説き、(③)という宗派を開いた。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 日蓮 ② 題目 ③ 日蓮宗(法華宗)

[各宗派全般]

[問題](1 学期期末)

次の表は、鎌倉時代の仏教の宗派である。①～⑥にあてはまる人物名を入れよ。ただし、⑤と⑥は順不同である。

宗 派	人物	内 容
浄土宗	①	一心に念仏を唱えれば極楽浄土に往生できる。
浄土真宗	②	自分の罪を自覚した悪人ほど救われる。
時宗	③	踊念仏, 念仏札
法華宗	④	題目を唱えれば人も国家も救われる。
禅宗	⑤・⑥	座禅を組むことによって自分の力でさとりを開く。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥		

[解答]① 法然 ② 親鸞 ③ 一遍 ④ 日蓮 ⑤ 栄西 ⑥ 道元

[問題](3 学期)

次の表の①～⑧にあてはまる語句を書け。

宗派名	人物名	教 え
(①)	法然	どのような人でも、阿弥陀如来の力にすがり、(②)(2 字)を唱えれば、極楽浄土に生まれ変わることができる。
時宗	(③)	心ひとすじに(②)を唱え、踊ることによって、仏の境地に達することができる。
(④)	親鸞	自分の罪の深さを自覚し、(②)を唱えるものは、悪人こそ救われる。
(⑤)	栄西	仏の教えの中心は禅であり戒律であるとし、国が禅を保護し、戒律を守る者が増えれば、国は守られる。
(⑥)	道元	文字や知識に頼らず、ひたすらに座禅を行なうことによって、仏の境地に達することができる。
(⑦)宗	(⑦)	シャカのほんとうの教えは法華経にあり(⑧)(2 字)を唱えれば、国も人も安らかになる。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

[解答]① 浄土宗 ② 念仏 ③ 一遍 ④ 浄土真宗 ⑤ 臨済宗 ⑥ 曹洞宗 ⑦ 日蓮
⑧ 題目

【】 元寇～鎌倉幕府の滅亡

【】 モンゴル帝国

[チンギス・ハンとモンゴル帝国]

[問題](2 学期期末改)

13 世紀の初め、(X)は、分かれていたモンゴル高原の遊牧民の勢力を統一してモンゴル帝国を建設し、初代のハン(皇帝)になった。(X)やその子孫は、さらに中国西部や西アジア、東ヨーロッパへ領土を広げ、ユーラシア大陸の東西にまたがる大帝国を築いた。これにより、東西の移動がしやすくなり、人やモノの交流が盛んになった。文中の X に適する語句を答えよ。

[解答欄]

--

[解答]チンギス・ハン

[解説]

13 世紀の初めに、モンゴル高原にチンギス・ハンが現れて、モンゴル帝国を築いた。その子孫は、東ヨーロッパまで領土を広げ、ユーラシア大陸をまたぐ広大な地域を支配した。モンゴル帝国は、海と陸の交通路を整え貿易を奨励^{しょうれい}したことで、東西の移動がしやすくなり、人やモノの交流が盛んになった。

※出題頻度：「チンギス・ハン○」「モンゴル帝国○」

「ユーラシア大陸の東西にまたがる大帝国→東西の移動がしやすくなる→人やモノの交流が盛んになった△」



[問題](後期中間改)

次の各問いに答えよ。

- (1) 13 世紀の初め、モンゴルの部族を統一して国を建設したのはだれか。
- (2) (1)の国の名前を答えよ。
- (3) (1)やその子孫は、さらに中国西部や西アジア、東ヨーロッパへ領土を広げ、何という大陸の東西にまたがる大帝国を築いたか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) チンギス・ハン (2) モンゴル帝国 (3) ユーラシア大陸

[問題](1 学期期末)

モンゴル帝国が右図のように、広い地域を支配したことで世界にどのような影響を与えたか。「移動」「交流」「東西」という言葉を使用して答えよ。



[解答欄]

--

[解答]東西の移動がしやすくなり、人やモノの交流が盛んになった。

[フビライ・ハンと元]

[問題](2 学期期末改)

次の文章中の①、②に適語を入れよ。

チンギス・ハンの孫の(①)は、モンゴル帝国のうち、中国・モンゴルなどの地域を本国として国号を(②)と定め、首都を大都(現在の北京)に置いた。(①)は 1279 年には宋(南宋)をほろぼし中国全土を支配下に置いた。イタリアの商人マルコ・ポーロは(①)に 17 年間仕え、帰国後、その体験をもとに「東方見聞録」を著した。その中で日本のことを「黄金の国ジパング」として紹介した。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① フビライ・ハン ② 元

[解説]

第 5 代皇帝となった孫のフビライ・ハンは、13 世紀半ばにモンゴルから中国にかけての地域に元げんという中国風の国名をつけて首都を大都だいと(現在の北京)に置き、高麗こうらいを従えた後、宋(南宋)そうなんそうをほろぼした。



[フビライ・ハン]

1271 年 フビライ・ハン、元(大都)高麗を従えた後、宋(南宋)をほろぼした。
マルコ・ポーロ：「東方見聞録」
黄金の国ジパング

イタリアの商人マルコ・ポーロはフビライに 17 年間仕え、帰国後、その体験をもとに「東方見聞録」(「世界の記述」)を著した。その中で日本のことを「黄金の国ジパング」として紹介した。

※出題頻度：「フビライ・ハン◎」「元○」「大都△」「宋(南宋)△」

「マルコ・ポーロ△：東方見聞録△、黄金の国ジパング△」

[問題](後期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) モンゴル帝国の第5代皇帝となったのは誰か。
- (2) (1)は、首都を大都(現在の北京)とする国をつくった。何という国か。漢字1字で答えよ。
- (3) (1)に17年間仕え、帰国後、その体験をもとに「東方見聞録」(「世界の記述」)を著したのは誰か。

[解答欄]

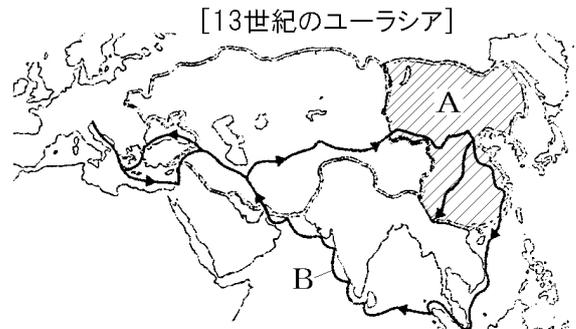
(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) フビライ・ハン (2) 元 (3) マルコ・ポーロ

[問題](3学期)

右の地図を見て、後の各問いに答えよ。

- (1) 地図中 A の国名と都を答えよ。
- (2) A の国を建国した皇帝の名前を答えよ。
- (3) (2)の人物は、1279年に中国のある王朝をほろぼして中国全土を支配下に置いた。中国の何という王朝をほろぼしたのか。
- (4) 地図中 B は、(2)の人物につかえ、その著書の中で日本をヨーロッパに紹介したイタリア商人の通った行路である。
 - ① この商人の名を答えよ。
 - ② 日本を紹介した著書の名前を答えよ。
 - ③ ②の中で日本を「〇〇の国ジパング」と紹介している。〇〇にあてはまる語句を答えよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)①	②	③

[解答](1) 元, 大都 (2) フビライ・ハン (3) 宋(南宋) (4)① マルコ・ポーロ

② 東方見聞録 ③ 黄金

【】元寇

[元寇：フビライ・ハンと北条時宗]

[問題](1 学期期末)

元のフビライ・ハンは高麗を征服した後、日本にも服属を求める使者を送ってきた。執権の北条時宗がこれを拒絶したため、1274 年(文永の役)と 1281 年(弘安の役)の 2 度にわたって日本に攻め込んだ。この 2 度にわたる元の襲来をあわせて何というか。

[解答欄]

[解答]元寇

[解説]

元のフビライ・ハンは高麗を征服した後、日本も従うようにと使者を送ってきた。幕府の執権北条時宗はこれを拒絶した。

その結果、1274 年(文永の役)と 1281 年(弘安の役)の 2 度にわたって日本に攻め込んだ。この 2 度にわたる元の襲来をあわせて元寇という。

【元寇】
フビライ・ハン、北条時宗
1274年 文永の役
1281年 弘安の役

※出題頻度：「フビライ・ハン◎」「北条時宗◎」「元寇◎：文永の役○，弘安の役○」

[問題](後期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 右の絵にえがかれている戦いを何というか。

漢字 2 字で書け。

(2) (1)のときの、幕府の執権は誰か。

(3) (1)のときの、元の皇帝は誰か。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 元寇 (2) 北条時宗 (3) フビライ・ハン

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 元は 2 度にわたって日本に襲来したが、これをあわせて何というか。

(2) (1)のときの元の皇帝は誰か。

(3) (1)のときの鎌倉幕府の執権は誰か。

(4) (1)のうち 1274 年に元が襲来したときの戦いを何の役というか。

(5) (1)のうち 1281 年に元が襲来したときの戦いを何の役というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 元寇 (2) フビライ・ハン (3) 北条時宗 (4) 文永の役 (5) 弘安の役

[元寇：戦いの様相]

[問題](2 学期中間改)

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

フビライ・ハンは朝鮮半島の高麗を征服した後，日本も従うようにと使者を送ってきた。幕府の執権北条時宗はこれを拒絶した。1274年，元軍3万が右図の博多湾に上陸し，(①)戦法と(②)を使った武器によって幕府軍をなやましたすえ引き上げた(文永の役)。さらに，1281年，約14万の大軍で襲来した。幕府軍は，博多湾沿いに築いた石の防壁を利用して戦った。元の大軍は上陸できないまま，暴風雨に襲われて大損害を受けて退却した(弘安の役)。



[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 集団 ② 火薬

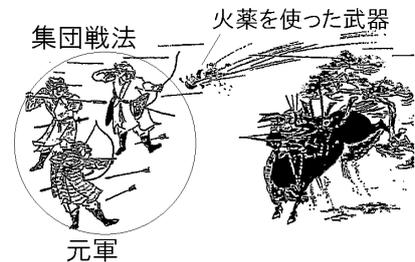
[解説]

フビライ・ハンは朝鮮半島の高麗を征服した後，日本も従うようにと使者を送ってきた。幕府の執権北条時宗はこれを拒絶した。1274年，元軍3万が九州の博多湾に上陸し，集団戦法と火薬を使った武器によって幕府軍をなやましたすえ，引き上げた(文永の役)。



[元寇：戦いの様相]
高麗を従えた後，1274年，文永の役(博多湾に侵攻)
集団戦法と火薬を使った武器
1281年，弘安の役
石の防壁にはばまれて上陸できず

さらに，元は宋(南宋)をほろぼした後，1281年，約14万の大軍で，襲来した。幕府軍は，博多湾沿いに築いた石の防壁を利用して戦った。元の大軍は上陸できないまま，暴風雨に襲われて大損害を受けて退却した(弘安の役)。(一風灰に(1281)に弘安の役)



※出題頻度：「高麗△」「博多湾(地図)△」「文永の役○」「集団戦法◎」「火薬を使った武器◎」「宋(南宋)△」「弘安の役○」「石の防壁△」

[問題](後期期末)

文永の役で、元軍の戦い方の特徴を「戦法」「武器」という語句を使って簡単に説明せよ。

[解答欄]

--

[解答]集団戦法と火薬を使った武器を使用した。

[問題](2 学期期末)

次の文章中の①～⑤に適語を入れよ。

フビライ・ハンは朝鮮半島の(①)を征服した後、日本も従うようにと使者を送ってきた。幕府の執権北条時宗はこれを拒絶した。1274 年、元は(①)の軍勢も合わせて九州の(②)湾に上陸し、(③)戦法と(④)を使った武器によって幕府軍をなやましたすえ、引き上げた。さらに、元は宋をほろぼすと、1281 年、約 14 万の大軍で襲来した。幕府軍は、(②)湾沿いに築いた(⑤)を利用して戦った。元の大軍は上陸できないまま、暴風雨に襲われて大損害を受けて退却した。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤			

[解答]① 高麗 ② 博多 ③ 集団 ④ 火薬 ⑤ 石の防壁

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

図1

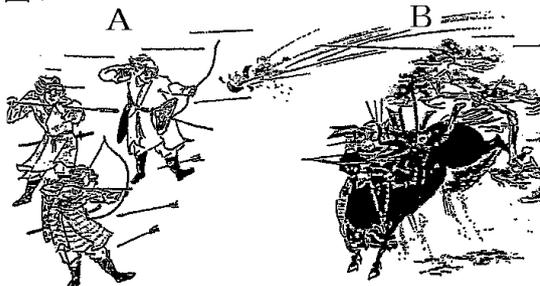


図2



- (1) 元が日本に攻めてきたのは、朝鮮半島のある国を屈服させた後であった。何という国か。
- (2) 図1は1274年に元が襲来したときの様子である。この戦いを何の役というか。
- (3) (2)の戦いのとき、元が攻めてきたのはどこか。①地名を答えよ(漢字2字)。②その場所は図2のア～カのうちのどこか。記号で答えよ。
- (4) 図1のA、Bのうち、日本軍はどちらか。
- (5) 元軍が日本軍を苦しめた理由について、図1を参考に、簡潔に説明せよ。
- (6) 元は、中国の何という王朝をほろぼしたあと、ふたたび日本に襲来したか。

(7) (6)の戦いを何の役というか。

(8) (2)の役と(7)の役では、どちらが日本に襲来した兵の数が多いか。「○○の役」という形で答えよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)①	②
(4)	(5)		
(6)	(7)	(8)	

[解答](1) 高麗 (2) 文永の役 (3)① 博多 ② カ (4) B (5) 集団戦法と火薬を使った武器を使用したから。 (6) 宋(南宋) (7) 弘安の役 (8) 弘安の役

【】 鎌倉幕府の滅亡

[御家人の不満]

[問題](2 学期期末)

次の文章中の①、②に適語を入れよ。

元寇は、国内の戦いと違って、戦いに勝っても敵の(①)を得たわけではないので、幕府は合戦に参加した武士に恩賞として(①)を与えることができなかった。鎌倉時代の将軍と御家人の関係は、御家人が一族を率いて戦いに参加するなどの奉公と、戦いに勝ったときは(①)を与えるという(②)によって支えられていた。戦いに参加したのに(①)がもらえないというのは、この関係を破るものであり、御家人は幕府に対して不満をいだくようになった。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 土地 ② 御恩

[解説]

国内の戦いに勝ったのであれば、倒した敵の土地を、手柄に
応じて恩賞として分け与えることになる。しかし、元寇の場
合は、戦いに勝っても土地が増えたわけではなかったので、
幕府は御家人に恩賞として土地を与えることができなかった。

[御家人の不満]

幕府が恩賞として土地を
与えることができなかったから

当時は出陣のために要する費用はすべて自分持ちであったから、恩賞はそれを補うという意味もあつたのである。恩賞を出さない(出せない)というのは、御恩と奉公という関係から見れば、重大な契約違反といってもよいことなのである。御家人が幕府に対して不満をいだくようになったのは当然のことである。

※出題頻度：「幕府が恩賞として土地を与えることができなかった○→御家人の不満△」

「国内の戦いと違って、戦いに勝っても土地が増えたわけではなかったから△」

[問題](3 学期)

元との合戦に参加した武士が幕府に不満を持つようになった理由を、「恩賞」「土地」という語句を使って簡潔に説明せよ。

[解答欄]

--

[解答]幕府が恩賞として土地を与えることができなかったため。

[問題](3 学期)

元寇のとき命がけで戦った御家人に、幕府は恩賞として土地を与えることができなかったが、それはなぜか。簡潔に説明せよ。

[解答欄]

[解答]国内の戦いと違って、戦いに勝っても土地が増えたわけではなかったから。

[徳政令]

[問題](3 学期)

領地の分割相続などによって生活が苦しくなっていた御家人を救うために、1297 年に鎌倉幕府が出した法律は何か。

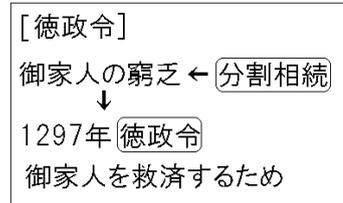
[解答欄]

[解答]徳政令(永仁の徳政令)

[解説]

鎌倉時代の中ごろから、鎌倉幕府を支える御家人ごけにんの生活は苦しくなっていた。その原因は、分割相続ぶんかつそうぞくである。当時は兄弟で親の財産(土地)を分けて相続する分割相続が行われていた。

承久じょうきゅうの乱らんなど国内の戦いおんしゅうで恩賞おんしょうとして領地りょうちを増やすことができる間はよかったが、戦いがなくなって領地の増加がなくなると、何代か分割相続をくりかえしていくうちに領地が細分化されてしまい、収入が減少し生活が苦しくなっていた。御家人のなかには、高利貸しからの借金が返せず土地を失う者が出てきた。幕府を支える御家人の窮乏きゅうぼうを救うため、幕府は 1297 年に徳政令とくせいれい(永仁えいにんの徳政令)を出して、御家人の領地の質入れや売却を禁止し、それまでに売ったり質流れになったりした土地をもとの持ち主である御家人にただで返させることとした。しかし、これによっても御家人の窮乏を救うことはできず、かえって、それまで金を融通していた高利貸しが金を貸さなくなるなど逆効果になり、幕府の信用を失わせる結果になった。(皮肉な(1297)結果に徳政令)



※出題頻度：「分割相続○」「徳政令(永仁の徳政令)◎：御家人を救済するため△」

[問題](3 学期)

鎌倉時代の御家人の窮乏について、次の各問いに答えよ。

(1) 御家人が困窮した理由として適当なものを次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア 土地の分割相続により、土地が小さくなったから。
- イ 米の収穫量が増加したことで、米の価格が下がったから。
- ウ 農民に貸していた借金が返済されなかったから。
- エ 日宋貿易が中断されたことで収入源を失ったから。

(2) 困窮する御家人を救うために出された法令の名称を書け。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) ア (2) 徳政令(永仁の徳政令)

[問題](入試問題)

鎌倉時代、元寇が起こり、御家人の生活に影響を与えた。元寇後の御家人の生活について述べた説明文の A に適語を答えよ。また、B には幕府の対応の説明が入る。その説明として最も適当なものを、あとのア～エのうちから 1 つ選び、記号で答えよ。

(説明文)

元寇は防衛戦であったため、御家人は十分な恩賞をもらえないまま海岸警備の負担も続いた。さらに、武士の領地は(A)して相続されたため、御家人の中には生活が苦しくなる者が出たため、幕府は(B)。

(B の選択肢)

- ア 楽市令を出し、市場での税を免除したので商工業が活発になった。
- イ 徳政令を出して御家人を救おうとしたが、一時的な効果しかなかった。
- ウ 御成敗式目を制定し、武士の慣習をまとめ武家政治の基準とした。
- エ 御家人や豪商に朱印状を与えて収入の一部を幕府へ納めさせた。

(沖縄県)

[解答欄]

A	B
---	---

[解答]A 分割 B イ

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

(資料)

領地の質入れや売買は、御家人の生活が苦しくなるもとなので、今後は禁止する。・・・御家人以外の武士や庶民が御家人から買った土地については、売買後の年数にかかわらず、返さなければならない。

- (1) この当時、御家人の生活が苦しくなった原因を「相続」の語句を用いて説明せよ。
- (2) 1297 年に出された上の法律を何というか。
- (3) (2)の法律の目的を「御家人」という語句を使って説明せよ。

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) 分割相続によって領地が細分化されたため。 (2) 徳政令(永仁の徳政令)
(3) 御家人を救済するため。

[問題](入試問題)

次のア～エのできごとを、年代の古いものから順に並べ、その符号を書け。

- ア 鎌倉幕府が永仁の徳政令を出した。
- イ 鎌倉幕府が博多湾岸に石の壁(防塁)を築いた。
- ウ 弘安の役が起こった。
- エ 文永の役が起こった。

(石川県)

[解答欄]

[解答]エ→イ→ウ→ア

[解説]

エ(1274年文永の役)→イ(防塁を築いて元の再度の襲来に備える)→ウ(1281年弘安の役)
→ア(1297年永仁の徳政令)

[鎌倉幕府の滅亡]

[問題](3学期)

鎌倉幕府への反感が強まる中、政治の実権を朝廷に取りもどすために兵を挙げ、楠木正成などの悪党と呼ばれた武士や、足利尊氏などの御家人の助けを借りて、鎌倉幕府をほろぼした天皇は誰か。

[解答欄]

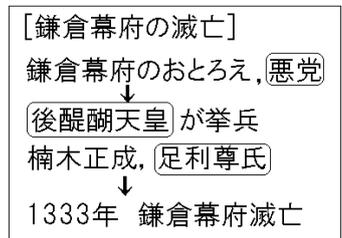
[解答]後醍醐天皇

[解説]

1333年に鎌倉幕府は滅亡した。滅亡の原因の第一は、御家人の窮乏と不満である。領地の分割相続によって御家人は次第に窮乏していった。また、元寇のとき恩賞がほとんどもらえなかったことで幕府への不満が広がった。幕府は徳政令を出したが、その効果はうすく、かえって不満と不信をまねく結果に終わった。

このような動揺をおさえるため北条氏は専制政治を強化したが、それはますます御家人の不満をつのらせる結果になった。

滅亡の原因の第二は、鎌倉中期以降の経済発展によって社会が大きく変動し、それにともなって、新しい武士階層が出てきたことである。



農村経済の発達とそれともなう商業の発達によって経済力をたくわえた御家人ではないあらたな武士が成長していった。彼らの中には、荘園の年貢を奪うなど、幕府の秩序を乱す者もあり、悪党とよばれた。悪党はやがて各地に広がっていき、百姓の抵抗運動とともに、荘園領主や幕府を悩ますようになっていった。

幕府のおとろえをみた後醍醐天皇は、幕府をたおして天皇中心の政治を取りもどそうと考え、楠木正成など、悪党とよばれた武士たちによびかけて兵をあげた。

これに対して幕府は、大軍を京都にのぼらせた。しかし、有力な御家人の足利尊氏は、幕府にそむいて、1333年、京都の六波羅探題を攻め落とし、新田義貞も鎌倉に攻め込んで、鎌倉幕府をほろぼした。(一味さんざん(1333)鎌倉滅ぶ)

※出題頻度：「後醍醐天皇○」「足利尊氏○」「新田義貞△」「楠木正成△」「悪党○」

[問題](2 学期期末)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

14世紀、鎌倉幕府はゆるぎはじめた。武士のなかには鎌倉幕府の政治や荘園の支配に反抗する者も出はじめた。このような武士たちを(①)と呼んだ。幕府のおとろえをみて、(②)天皇は、幕府を倒して天皇中心の政治を取りもどそうと考え、楠木正成など(①)と呼ばれた武士たちによびかけて兵をあげた。これに対して幕府は、大軍を京都にのぼらせた。しかし、有力な御家人の(③)は、幕府にそむいて、1333年、京都の六波羅探題を攻め落とし、新田義貞も鎌倉に攻め込んで、鎌倉幕府をほろぼした。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 悪党 ② 後醍醐 ③ 足利尊氏

[問題](後期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 近畿地方中心に鎌倉幕府に従わない武士が成長し、年貢をうばう武士も出てきた。このような武士は何と呼ばれていたか。
- (2) (1)を代表する武士で、鎌倉幕府を倒すのに功績のあった人物を1人あげよ。
- (3) 幕府にそむいて、京都の六波羅探題を攻めた有力な御家人は誰か。
- (4) 鎌倉に攻め込んで、鎌倉幕府をほろぼした御家人は誰か。
- (5) (2)や(3)や(4)などを味方につけて、1333年に鎌倉幕府を倒した天皇は誰か。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

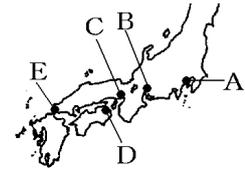
[解答](1) 悪党 (2) 楠木正成 (3) 足利尊氏 (4) 新田義貞 (5) 後醍醐天皇

【】 総合問題

[問題](要点整理)

次の文章中の①～②に適語を入れよ。

年代	おもなできごと
1180年	右の肖像画の(①)が挙兵し、山と(②)に囲まれて守りやすい(③)(地図の(④))を本拠地にする。
1185年	(①)の弟の(⑤)が(⑥)(地図の(⑦))で平氏を滅ぼす。
1185年	(①)は、国ごとに(⑧), (⑨)や公領ごとに(⑩)を設置し、(⑪)幕府を開く。
1189年	(①)が東北地方の(⑫)氏を滅ぼす。
1192年	(①)が(⑬)に任命される。 将軍と(⑭)の主従関係：将軍は(⑮)として(⑭)に以前からの(⑯)を保護し手柄に応じて新しい(⑰)を与えた。 (⑭)は将軍に忠誠を誓い、京都や鎌倉の警備や、戦いに一族を率いて参加する(⑰)を行った。 幕府には、中央に、(⑱)(御家人の統率・軍事)・(⑲)(財政など)・(⑳)(裁判)などが置かれ、(①)の死去後、これらを統括する最高職として(㉑)がおかれ、(㉒)氏はその地位を独占する(㉓)政治を行う。



[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒		

[解答]① 源頼朝 ② 海 ③ 鎌倉 ④ A ⑤ 源義経 ⑥ 壇ノ浦 ⑦ E ⑧ 守護
⑨ 荘園 ⑩ 地頭 ⑪ 鎌倉 ⑫ 奥州藤原 ⑬ 征夷大將軍 ⑭ 御家人 ⑮ 御恩
⑯ 領地(土地) ⑰ 奉公 ⑱ 侍所 ⑲ 政所 ⑳ 問注所 ㉑ 執権 ㉒ 北条

[問題](要点整理)

次の文章中の①～⑯に適語を入れよ(または、適語を選べ)。

年代	おもなできごと
1221年	<p>(①)上皇が、第2代執権(②)追討の命令を出し、(③)の乱を起こす。</p> <p>亡き源(④)の妻であった(⑤)が、御家人に対して「みなの方、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。(④)公が朝廷の敵をたおし、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海より深いものでした」と(⑥)を説き、「名誉を大事にする者は、京都(朝廷)に向かって出陣し、逆臣をうち取り幕府を守りなさい」と(⑦)を行うよう説得した(⑥と⑦はそれぞれ漢字2字)。</p> <p>(③)の乱後、(①)上皇は(⑧)に流罪になった。</p> <p>幕府は、京都に(⑨)を置いて(⑩)を監視。</p> <p>上皇方についた貴族や⑪(東日本/西日本)の武士の領地を取り上げ、地頭に⑫(東日本/西日本)の御家人を任命→幕府の支配は⑬(東日本/西日本)にも及ぶようになった。</p> <p>地頭の荘園侵略→荘園の半分を地頭に分ける下地(⑭)。</p>
1232年	<p>公正な裁判を行うために、北条(⑮)が(⑯)を制定。</p>

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯

[解答]① 後鳥羽 ② 北条義時 ③ 承久 ④ 頼朝 ⑤ 北条政子 ⑥ 御恩 ⑦ 奉公

⑧ 隠岐 ⑨ 六波羅探題 ⑩ 朝廷 ⑪ 西日本 ⑫ 東日本 ⑬ 西日本 ⑭ 中分 ⑮ 泰時

⑯ 御成敗式目(貞永式目)

[問題](要点整理)

次の表中の①～⑳に適語を入れよ。

美術	<p>Aは(①)門。Bは(②)像で作者は(③)。 Bに見られるように、この時代の文化は写実的で(④)。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>A</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>B</p>  </div> </div>
文学	<p>「祇園精舎の鐘の声、…」は(⑤)(作品名)、(⑥)が語り伝える。 徒然草:(⑦)(作者) 方丈記:(⑧)(作者) (⑨)和歌集:(⑩)上皇の命令で藤原定家らが編集。</p>
仏教	<p>鎌倉仏教は、(⑪)やすく、実行しやすかった→急速に広まる。 (⑫)宗:(⑬)(開祖):(⑭)を唱えれば極楽浄土に往生できる。 (⑮)宗:(⑯)(開祖):(⑰)の弟子。罪を自覚した悪人ほど救われる。 (⑱)宗:(⑲)(開祖): 踊念仏 (⑳)宗:(㉑)(開祖): 題目を唱えれば人も国家も救われる。 (㉒)宗: 曹洞宗の(㉓), 臨済宗の(㉔)。(㉕)という修行方法。</p>
農業など	<p>農業: 米の裏作に麦をつくる(㉖)が行われるようになった。 商業: 寺社の門前などで月3回の(㉗)市が開かれた。 鎌倉時代の農民は荘園領主と(㉘)による二重の支配を受けていた。</p>

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔
㉖	㉗	㉘	

[解答]① 東大寺南大 ② 金剛力士 ③ 運慶 ④ 力強い ⑤ 平家物語 ⑥ 琵琶法師
 ⑦ 兼好法師 ⑧ 鴨長明 ⑨ 新古今 ⑩ 後鳥羽 ⑪ わかり ⑫ 浄土 ⑬ 法然 ⑭ 念仏
 ⑮ 浄土真 ⑯ 親鸞 ⑰ 時 ⑱ 一遍 ⑲ 日蓮(法華) ⑳ 日蓮 ㉑ 禅 ㉒ 道元
 ㉓ 栄西 ㉔ 座禅 ㉕ 二毛作 ㉖ 定期 ㉗ 地頭

[問題](要点整理)

次の年表中の①～⑳に適語を入れよ。

年代	おもなできごと
13世紀初	(①)・ハンがモンゴルの部族を統一し、(②)帝国を建設。
1271年	5代目の(③)・ハンが、都を大都(北京)に移し国号を(④)と定める。 イタリアの商人(⑤)が「東方見聞録」の中で日本を「黄金の国」と紹介。
1274年	(⑥)の役：朝鮮の(⑦)を屈服させた後、(④)の軍が、博多湾岸に襲来。 幕府の執権は(⑧)。 (④)軍は、(⑨)戦法と(⑩)を使った武器により幕府軍をなやませる。
1281年	(⑪)の役：博多湾岸に築いた(⑫)などの防備で応戦。 文永の役と弘安の役をあわせて(⑬)という。 幕府は恩賞として(⑭)を与えることができなかった→(⑮)人の不満。 (⑯)相続により土地が細分化されて(⑮)人の生活が苦しくなる。
1297年	(⑰)令：(⑮)人を救うために幕府が出す。 荘園領主や幕府に従わず、年貢をうばう(⑱)と呼ばれる武士も登場。
1333年	(⑲)天皇が、朝廷に実権を取りもどすために幕府を倒そうとする。 (⑱)の楠木正成や、有力御家人の(⑳)や新田義貞が味方して、鎌倉幕府をほろぼす。

[解答欄]

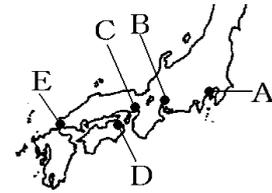
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳

[解答]① チンギス ② モンゴル ③ フビライ ④ 元 ⑤ マルコ・ポーロ ⑥ 文永
⑦ 高麗 ⑧ 北条時宗 ⑨ 集団 ⑩ 火薬 ⑪ 弘安 ⑫ 石の防壁 ⑬ 元寇 ⑭ 土地
⑮ 御家 ⑯ 分割 ⑰ 徳政(永仁の徳政) ⑱ 悪党 ⑲ 後醍醐 ⑳ 足利尊氏

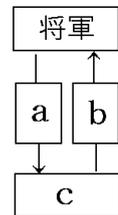
[問題](3 学期など)

次の年表について、後の各問いに答えよ。

年代	できごと
1180 年	(X)が挙兵…ア
1185 年	平氏が滅亡。…イ
1185 年	(X)が()幕府を開く。…ウ
1189 年	(X)が東北地方の()氏を滅ぼす。…エ
1192 年	(X)が()に任命される。…オ



- (1) 年表中の X は右の肖像画の人物である。名前を書け。
- (2) 年表中のアについて、X は挙兵後、山と海に囲まれて守りやすい場所を本拠地に定め、そこで指揮をとった。その本拠地の①地名を答えよ。
②その場所を上地図中の A～E から選べ。
- (3) 年表中のイについて、①平氏がほろぼされた地名を答えよ。②その場所を上地図中の A～E から選べ。③平氏をほろぼした X の弟にあたる武将の名前を答えよ。
- (4) 年表中のウについて、X が朝廷に強くせまって設置することを認めさせた①国ごとに置いた役職は何か。②また、荘園や公領ごとに置いた役職は何か。③()にあてはまる適語を書け。
- (5) 年表中のエの()にあてはまる語句を漢字 4 字で答えよ。
- (6) 年表中のオの()にあてはまる語句を答えよ。
- (7) 右図は、将軍と配下の武士(図の c)の主従関係を表したものである。これについて、次の文中の①～⑤に適語を入れよ。
a は将軍が(①)(図の c)の(②)を保護し、さらに手柄に応じて新しい(②)を与える(③)を表している。b は c が京都や(④)の警備や、戦いに一族を率いて参加する義務である(⑤)を表している。
- (8) 次の文中の①～④に適語を入れよ。
幕府には、中央に、(①)(御家人の統率・軍事)・(②)(財政など)・(③)(裁判)が置かれ、これらを統括する最高職として(④)が X の死後に設けられた。



[解答欄]

(1)	(2)①	②	(3)①
②	③	(4)①	②
③	(5)	(6)	(7)①
②	③	④	⑤
(8)①	②	③	④

[解答](1) 源頼朝 (2)① 鎌倉 ② A (3)① 壇ノ浦 ② E ③ 源義経 (4)① 守護
 ② 地頭 ③ 鎌倉 (5) 奥州藤原 (6) 征夷大將軍 (7)① 御家人 ② 領地(土地) ③ 御恩
 ④ 鎌倉 ⑤ 奉公 (8)① 侍所 ② 政所 ③ 問注所 ④ 執権

[問題](2 学期期末など)

次の年表について、後の各問いに答えよ。

年代	できごと
1199年	源頼朝が死去。…ア
1221年	()の乱が起こる。…イ
1232年	武士の社会で行われていた慣習をまとめた法律が制定される。…ウ

- (1) 年表中のアについて、①源頼朝が死んだ後、実権をにぎったのは何氏か。②また、①は何という地位を独占したか。③この政治を何というか。
- (2) 年表中のイの()にあてはまる語句を答えよ。
- (3) イの乱を起こした上皇は誰か。
- (4) イの乱のとき、御家人に対して「みなもの者、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝公が朝廷の敵をたおし、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海より深いものでした。…」と説いたのは女性誰か。
- (5) (4)の女性と源頼朝の関係は次の[]のうちのどれか。1つ選べ。
 [兄と妹 母親と息子 夫と妻 父親と娘]
- (6) イの乱に勝利をおさめた幕府は京都にあらたな役所を置いた。①この役所を何というか。②また、①を設置した目的を「朝廷」という語句を使って簡単に説明せよ。
- (7) イの乱後に幕府の支配力はどのように変化したか。「東日本」「西日本」という語句を使って説明せよ。
- (8) 年表中のウについて、①この法律を何というか。②この法律を制定したのは誰か。

[解答欄]

(1)①	②	③	(2)
(3)	(4)	(5)	(6)①
②	(7)		
(8)①	②		

[解答](1)① 北条氏 ② 執権 ③ 執権政治 (2) 承久 (3) 後鳥羽上皇 (4) 北条政子
 (5) 夫と妻 (6)① 六波羅探題 ② 朝廷を監視するため。 (7) 幕府の支配力は東日本だけでなく西日本にまで及ぶようになった。 (8)① 御成敗式目(貞永式目) ② 北条泰時

[問題](3 学期など)

次の各問いに答えよ。



C

祇園精舎の鐘の聲、
諸行無常の響あり。
娑羅双樹の花の色、
盛者必衰のことはりをあらはす。
おこれる人も久しからず、
只春の夜の夢のごとし。
たけき者も遂にはほろびぬ、
偏に風の前の塵に同じ。

- (1) 写真 A は、現在の奈良市にある寺院の門である。この建物を何というか。
- (2) 写真 B の像は、A の内部に置かれている。この像を何というか。
- (3) (2)の作者は誰か。1 人あげよ。
- (4) B に見られる、この時代の文化の特徴を次から 1 つ選んで記号で答えよ。
ア 写実的で力強い イ 世のはかなさ ウ 貴族の優美な感情
- (5) 資料 C は、武士の活躍をえがいた軍記物の代表作の一部である。この作品名は何か。
- (6) (5)の軍記物は、どのような人々によって広められていったか。
- (7) 後鳥羽上皇の命令で藤原定家らが編集した和歌集は何か。
- (8) 兼好法師が書いた随筆は何か。
- (9) 鴨長明が社会のむなしさを説いた随筆は何か。
- (10) 鎌倉仏教について、次の①～⑤に関係のある宗派の名前と、それを開いた人物の名前を答えよ。
 - ① 諸国を歩いて布教し、踊念仏をはじめ。
 - ② 自分の罪の深さを自覚し、念仏を唱えるものは、悪人こそ救われる。
 - ③ 題目を唱えれば人も国家も救われる。
 - ④ 一心に念仏を唱えれば極楽浄土に往生できる。
 - ⑤ 座禅を組むことによって自分の力でさとりを開く。(⑤の宗派名は漢字 2 字で答えよ。人物は 2 人あげよ)
- (11) 鎌倉仏教の教えが急速に広まっていった理由を簡潔に説明せよ。
- (12) 鎌倉時代、1 つの耕地で米と裏作として麦を作る農業が行われるようになった。この農業を何というか。
- (13) 鎌倉時代、寺社の門前や交通の便利なところで、月に 3 回ほど開かれていた市場を何というか。
- (14) 鎌倉時代の農民の暮らしでは、きびしい生活を強いられることになった。その理由を「荘園領主」「地頭」の 2 つの言葉を使って、説明せよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)
(9)	(10)①	②	
③	④	⑤	
(11)	(12)	(13)	
(14)			

[解答](1) 東大寺南大門 (2) 金剛力士像 (3) 運慶 (4) ア (5) 平家物語 (6) 琵琶法師 (7) 新古今和歌集 (8) 徒然草 (9) 方丈記 (10)① 時宗, 一遍 ② 浄土真宗, 親鸞 ③ 日蓮宗(法華宗), 日蓮 ④ 浄土宗, 法然 ⑤ 禅宗, 栄西と道元 (11) 分かりやすく, 実行しやすかったから。 (12) 二毛作 (13) 定期市 (14) 荘園領主と地頭による二重の支配を受けていたから。

[問題](後期期末など)

次の年表を見て, 後の各問いに答えよ。

年代	できごと
13世紀初め	()がモンゴルの部族を統一…ア
1271年	大都(北京)を都とする()という国ができる。…イ
1274年	()の役。…ウ
1281年	()の役。…エ
1297年	永仁の()令。…オ
1333年	鎌倉幕府の滅亡。…カ

- (1) 年表中のアについて, ①()に適する人物名を答えよ。②①とその子孫がつくったユーラシア大陸の東西にまたがる帝国は何か。
- (2) 年表中のイの()に適する国名を漢字1字で答えよ。
- (3) (2)をつくった皇帝は誰か。
- (4) (3)に17年間仕え, 帰国後, その体験をもとに「東方見聞録」(「世界の記述」)を著したのは誰か。
- (5) 年表中のウの()に適語を入れよ。
- (6) 年表中のエの()に適語を入れよ。
- (7) 年表中のウとエをあわせて何というか。
- (8) (7)のときの鎌倉幕府の執権の名前を答えよ。

- (9) (2)が日本に侵攻してきたのは朝鮮半島のある国を屈服させた後であった。何という国か。
- (10)年表中のウで日本軍を悩ませたのは元軍の(①)戦法と(②)を使った武器であった。①, ②に適語を入れよ。
- (11)ウの後, 幕府は博多湾の海岸沿いにあるものを築いて, 次の襲来に備えた。何を築いたか。
- (12)(7)の戦いに参加した武士が幕府に不満を持つようになった理由を, 「恩賞」という語句を使って簡潔に説明せよ。
- (13)この当時, 御家人の生活が苦しくなった原因を「相続」の語句を用いて説明せよ。
- (14)年表中のオについて, ①()内に適する語句を書け。②①何のために出されたか。「御家人」という語句を使って簡潔に説明せよ。
- (15)鎌倉時代後期, 幕府の政治に抵抗するようになった, 御家人ではない武士を何というか。
- (16)年表中のカについて, ①政治の実権を朝廷に取りもどすために兵を挙げた天皇は誰か。
②幕府にそむいて, 京都の六波羅探題を攻めた有力な御家人は誰か。

[解答欄]

(1)①	②	(2)	
(3)	(4)	(5)	
(6)	(7)	(8)	(9)
(10)①	②	(11)	
(12)			
(13)			
(14)①	②		
(15)	(16)①	②	

- [解答](1)① チンギス・ハン ② モンゴル帝国 (2) 元 (3) フビライ・ハン
 (4) マルコ・ポーロ (5) 文永 (6) 弘安 (7) 元寇 (8) 北条時宗 (9) 高麗 (10)① 集団
 ② 火薬 (11) 石の防壁 (12) 幕府が恩賞として土地を与えることができなかったため。
 (13) 分割相続によって領地が細分化されたため。 (14)① 徳政 ② 御家人を救済するため。
 (15) 悪党 (16)① 後醍醐天皇 ② 足利尊氏